

議題3 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業の進捗状況について

1. 地域再生計画の名称

スタジアムリニューアルによる魅力向上プロジェクト

2. 事業の目的・内容

ベストアメニティスタジアムの支柱や外壁等へ必要な改修工事を行い、「まちのシンボルとしての輝きを取り戻す」ことによって、「サガン鳥栖がさらに輝く舞台」へとリニューアルし、様々なサガン鳥栖支援事業と連携してスタジアム来場者数の増加を図ることによって、本市への交流人口の増加、サガン鳥栖応援気運の高揚、サガン鳥栖を通じたシビックプライドの醸成へと繋げていくもの。

また、鳥栖駅周辺まちづくり基本構想において、新たに整備する駅舎・自由通路と東西駅前広場からベストアメニティスタジアムに至る空間を「賑わい結節エリア」とする土地利用構想を策定していることから、今回の改修にあたっては、鳥栖駅周辺整備事業と連携を図り、駅周辺を景観に配慮した統一的なデザインで設えることで、まちの顔としての魅力を高めるための有効な手法としていきたいと考えている。

3. H29実績報告

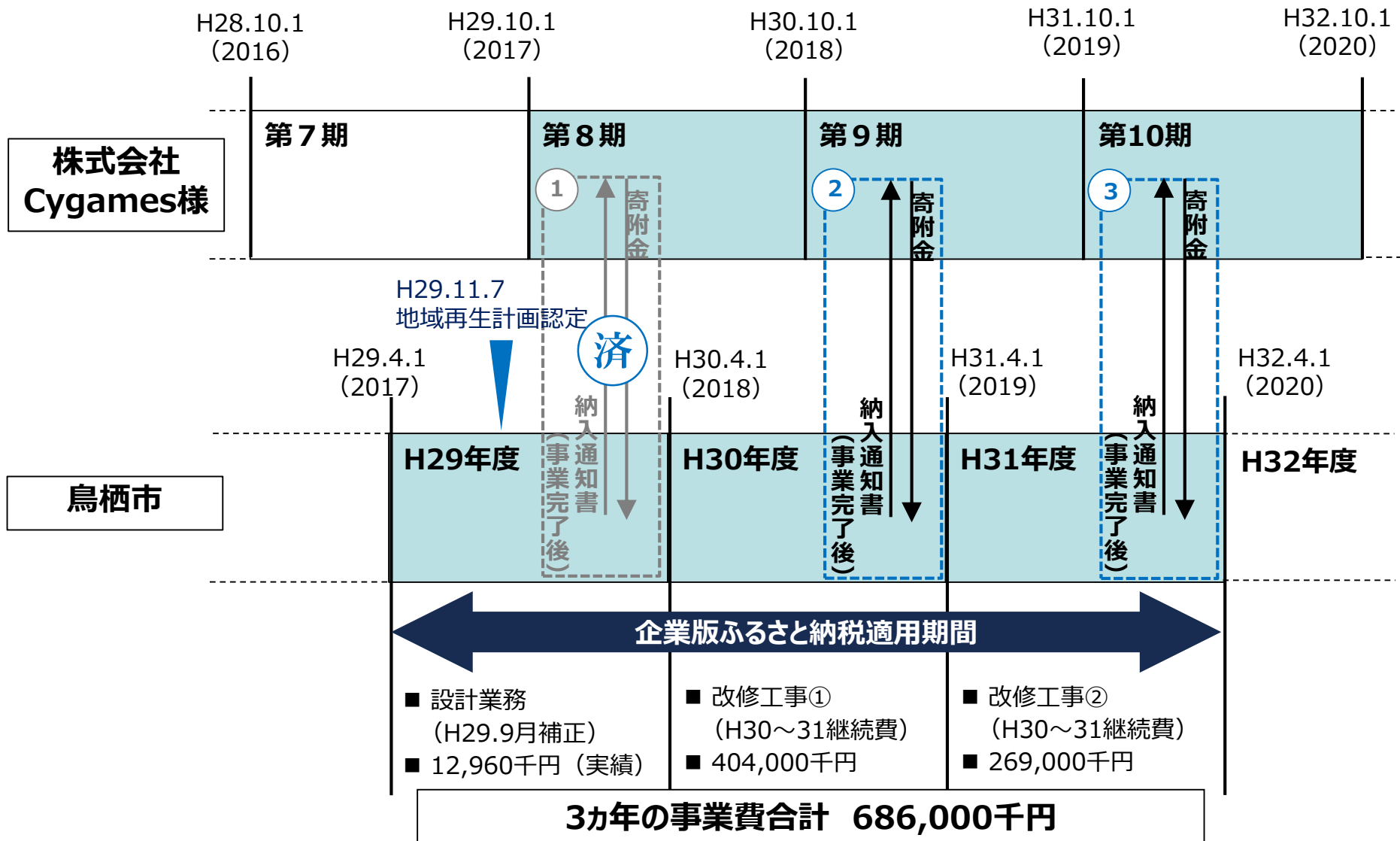
(単位：千円)

予算額	年度	H29	H30	H31	計
		事業費計	13,000	404,000	269,000
区分	委託料	13,000	8,000	5,000	26,000
	工事請負費		396,000	264,000	660,000
実績額	事業費計	12,960			12,960
	区分	委託料	12,960		12,960
		工事請負費			12,960
寄附額		12,960			12,960

4. KPI（重要業績評価指標）スタジアム年間来場者数

KPI	年月	目標値	実績値
申請時	H29.3	213,714人	213,714人
初年度	H30.3	221,000人	241,295人
2年目	H31.3	229,500人	-
3年目	H32.3	238,000人	-

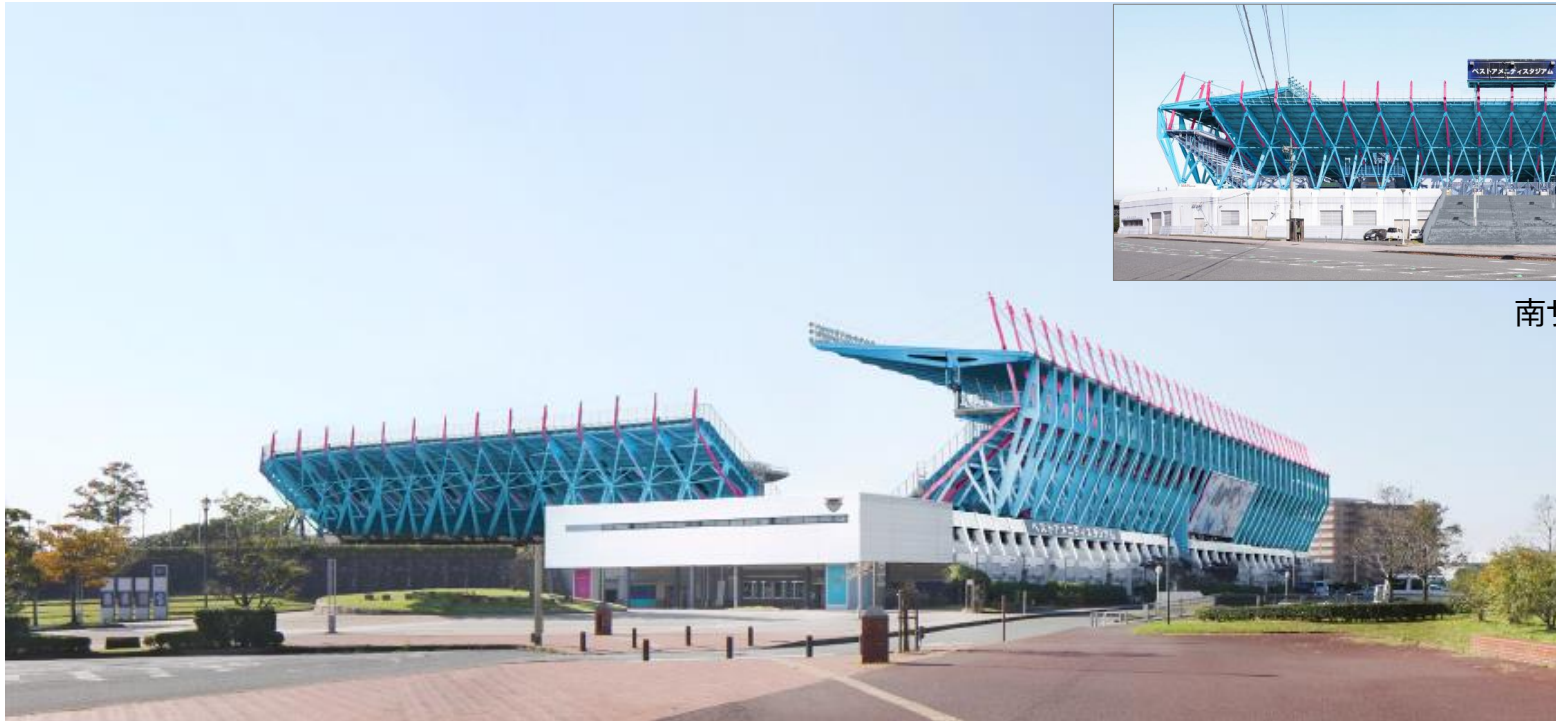
5. 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用スケジュール



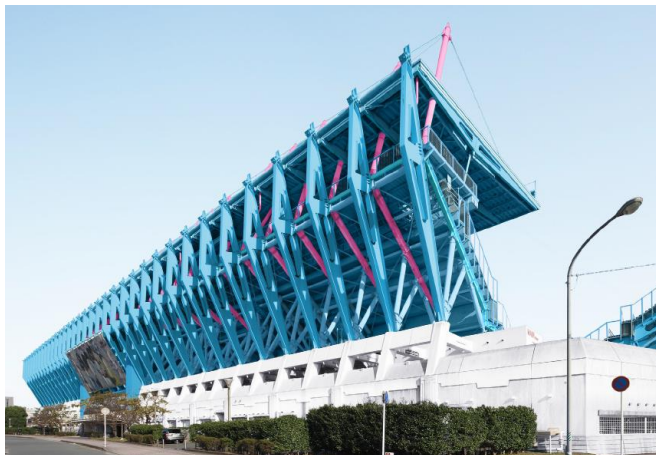
スタジアム改修完成パース



南サイドスタンド



北サイドスタンド／メインスタンド



メインスタンド（南側より）



メインスタンド（駅立体駐車場より）

【参考】地方創生応援税制（「企業版ふるさと納税」）の概要

1. 制度のポイント

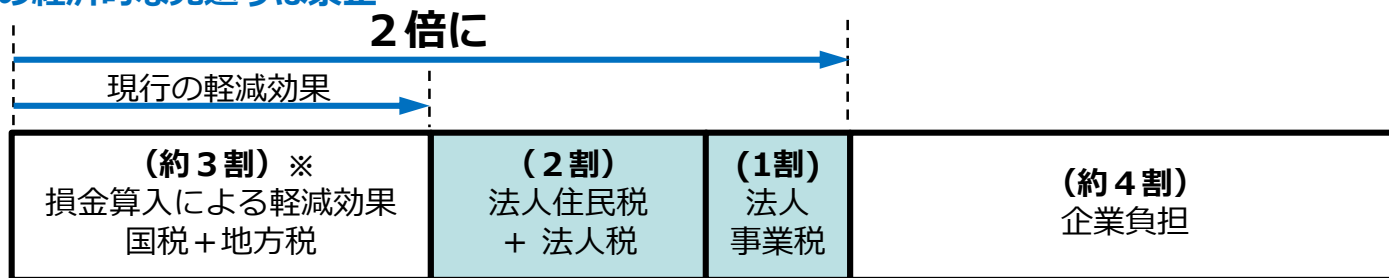
○志のある企業が地方創生を応援する税制

→地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について、**税額控除**の優遇措置

○企業が寄附しやすいように

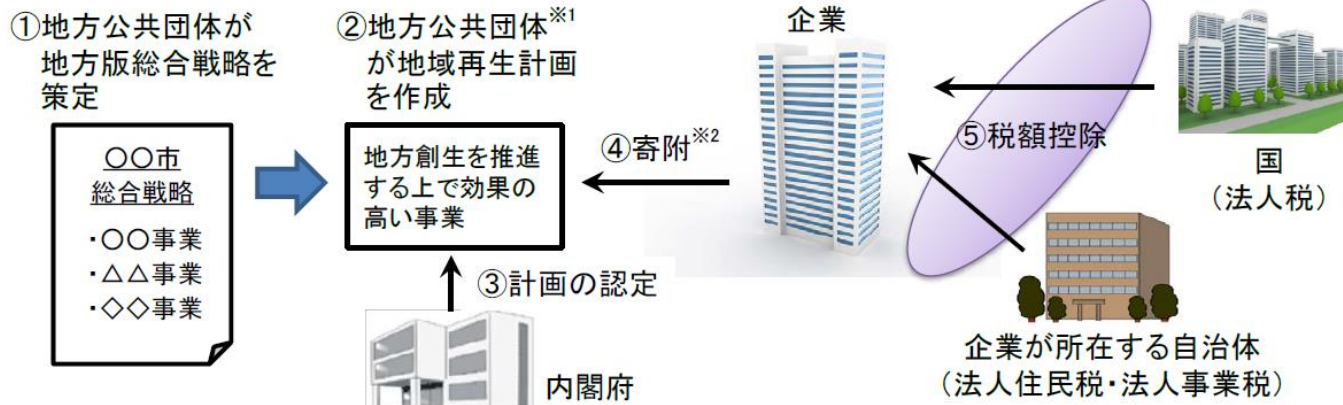
・税負担軽減のインセンティブを2倍に ・寄附額の下限は10万円と低めに設定

○寄付企業への経済的な見返りは禁止



※企業が地方公共団体に寄附する場合は、その全額が損金算入されるため、寄附額の約3割（法人実効税率）相当額の税の軽減効果がある

2. 制度活用の流れ



※1 不交付団体である東京都、不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市町村は対象外。

※2 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。